

令和4年度 京丹後市立丹後古代の里資料館企画展示1



# 海

だいかんしょ  
の代官所と  
たちのみやもんじょ  
太刀宮文書

～久美浜代官所から久美浜県へ～

前期

4.29 – 6.12  
(金・祝) (日)

中期

6.15 – 7.24  
(水) (日)

後期

7.27 – 9.11  
(水) (日)

京丹後市立丹後古代の里資料館

〒627-0228 京都府京丹後市丹後町宮 108  
TEL0772-75-2431 FAX0772-75-2432

主催：京丹後市教育委員会、京丹後市立丹後古代の里資料館、京都府立大学文学部歴史学科、神谷神社

開館時間：9：30～16：00（火曜日休館）

※5月3日（火）は開館し、5月6日（金）が休館です。

入館料：大人300円（200円）小中学生150円（100円）

※（ ）内は15名以上の団体料金。小学生未満無料。

※この企画展示と令和4年度第1回京丹後市文化財セミナーは、「公儀触伝達にみる徳川領国と国持外様領国の両領国体制の存在と構造－幕藩体制構造研究」（科学研究費補助金基盤研究（C）JSPS KAKEN 20K01245）の成果を使用しています。

新型コロナウイルス感染症の動向により、企画展示・関連行事を延期もしくは中止する場合があります。

久美浜代官所は、享保20年(1735)、丹後国の幕府領(天領)を支配するために久美浜村(現在の京丹後市久美浜町)に置かれたものです。その後、支配地は、但馬(兵庫県北部)、美作国(岡山県北部)の幕府領まで広がりました。江戸時代には、全国各地に代官所が置かれてきましたが、日本海側にあった代官所は久美浜代官所のほかに出雲崎(新潟県)しかありません。海と深くかかわる「海の代官所」と呼ぶべきものでした。

久美浜代官所で作成された文書類は全く残っていませんが、代官所と領地の村々を中継した郡中代(久美浜村の庄屋が兼帯)を務めた今西家の文書群が神谷神社(太刀宮)に伝わっています。これは、大正7年(1918)に今西家から神谷神社に寄贈されたものです。

京都府立大学文学部歴史学科では、令和2年度より3ヶ年をかけて、科研費により太刀宮文書の調査(撮影と目録の再整理)を行いました。今回の企画展示では、江戸時代の「海の代官所」から明治初期の久美浜県の時代まで、太刀宮文書の概要を紹介します。



御用留(神谷神社所蔵)



久美浜小学校前の陣屋橋

## 展示解説

- 日時 5月14日(土)、6月25日(土)、7月30日(土)

※いずれも10:00~11:00に実施

- 料金 当日は終日**入館無料**

令和4年度第1回京丹後市文化財セミナー

### 「海の代官所」と太刀宮文書 ~久美浜代官所から久美浜県へ~

日時 5月21日(土)13:30~16:00

場所 京丹後市久美浜庁舎2階大会議室

主催 京丹後市教育委員会、京都府立大学文学部歴史学科、神谷神社

内容 開催趣旨説明	山田洋一(京都府立大学)
神谷神社について	佐治宣幸(神谷神社)
熊野郡誌編さんと参考館	新谷勝行(京丹後市教育委員会文化財保護課)
漁業関係史料について	稲穂将士(京都府立丹後郷土資料館)
太刀宮文書と御城米船等	山田洋一(京都府立大学)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館時にはマスクの着用、手指の消毒、検温にご協力をお願いします。発熱や体調がすぐれない方は入館をご遠慮ください。館内が混雑する際は、入館人数を制限させて頂く場合があります。また感染状況によっては企画展示及び関連イベントの開催を中止させて頂く場合があります。